概要はこちら (TR7 シリーズ機能と仕様 PDF) https://www.tandd.co.jp/product/spec/outlinespec-tr7-jpn.pdf



TR71A2, TR72A2, TR72A2-S, TR75A2

各部の名称

この度は、当社の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

パッケージ内容の確認

ご使用前にパッケージ内容が揃っているかご確認ください。





USBコネクタ

(Mini-B)

※本体ボタン操作で可能な設定については裏面をご覧ください

電池フタ



本体ボタン操作

液晶表示マークの名称については、「TR7 シリーズマニュアルサイト」「TR7A2 取扱説明 書」に掲載しています。 表面記載の URL よりご確認ください。

電源 ON/OFF

[PWR]ボタン長押し*1*2

記録開始*3

[REC / STOP]ボタン長押し*1 「DATAマーク」点滅後、「RECマーク」点灯で記録開始

記録停止*3

[REC / STOP]ボタン長押し*1 「RECマーク」点滅後、「RECマーク」消灯で記録停止

記録間隔と自動送信間隔の設定値を液晶画面に表示する

[INTERVAL]ボタンを押すごとに「Rec.マーク」(記録間隔)と「Uploadマーク」(自動 送信間隔)を交互に表示

記録間隔の設定変更

記録中は設定変更ができないので、記録停止中に操作を行う必要がある*3 [INTERVAL]ボタンを1回押し、「Rec.マーク」表示中に[INTERVAL]ボタン長押し*1 「Rec.マーク」点滅後、設定値点滅。設定値点滅中に[INTERVAL]ボタンを数回押して記 録間隔を変更 設定したい数値に合わせてしばらく放置すると設定が完了

自動送信間隔の設定変更

[INTERVAL]ボタンを2回押し、「Uploadマーク」表示中に[INTERVAL]ボタン長押し*1 「Uploadマーク」点滅後、設定値点滅。設定値点滅中に[INTERVAL]ボタンを数回押して記 録間隔を変更 設定したい数値に合わせてしばらく放置すると設定が完了

データ送信先サーバへの記録データ・設定内容の送信

手動で即時にサーバへデータを送信したい場合に使用 [REC / STOP]ボタンを押す。「無線LANマーク」と「COMマーク」が点滅し、サーバと 通信

通信キャンセル

[PWR]ボタンを押す

測定値表示方法の変更

[DISPLAY]ボタンを押すごとに以下のように表示を切り替えます ①Ch1 / Ch2 現在値 → ②Ch1最大値 / 最小値 → ③Ch2最大値 / 最小値 → ① ~ ③の 巡回表示

TR75A2センサタイプ表示

測定値表示方法で①Ch1/Ch2現在値の状態の時に[DISPLAY]ボタン長押し*1

最大値 / 最小値のクリア・「ALMマーク」の消灯

測定値表示方法で②Ch1最大値 / 最小値か③Ch2最大値 / 最小値を表示中に[DISPLAY] ボタン長押し*1

最大値 / 最小値点滅後、最大値 / 最小値がクリアされ「ALMマーク」が消灯*6

WPSでの無線LAN接続設定

利用中のアクセスポイントがWPSに対応しており、セキュリティ設定がWPA/WPA2 PSKで ある必要がある*4*5 [PWR]ボタン+[DISPLAY]ボタン同時に長押し*1 「WPSマーク」点滅後、点灯 「WPSマーク」点灯時に利用中のアクセスポイントをWPS認証モードに設定 接続に成功すると「無線LANマーク」が点灯、失敗時には点滅

*1 長押しとは約2秒間ボタンを押し続ける操作のことです。

*2 記録中は電源を OFF にできません。

- *3 記録を開始すると本体内の記録データはすべて消失します。記録停止後は必要に応じて記録開始前に データの吸い上げを行なってください。
- *4 利用中のアクセスポイントの仕様や使い方については、販売元メーカーへお問い合わせください。 *5 アクセスポイントの仕様により本体操作で無線 LAN 接続設定ができない場合は、スマート端末用アプ
- 5 デジモスホイントの江棟により本体操作で無線 LAN 接続設定かできない場合は、スマート端木用デブ りか Windows 用ソフトウェアからの設定をお試しください。
- *6本体ボタン操作では最大値 / 最小値と「ALM マーク」が同時にクリアされます。アプリから操作する ことで別々にクリアすることも可能です。

本体ボタン操作方法の詳細については Web サイトで公開しています。 https://manual.tandd.co.jp/tr7/button/index.html



熱電対センサタイプの確認(TR75A2のみ)

Ch1 / Ch2 現在値固定表示の時に、本体にある[DISPLAY] ボタンを長押しすると、各チャ ンネルに設定されているセンサタイプを表示します。



工場出荷時は両チャンネル共にKタイプに設定されています。ご使用になる熱電対の種類に応じて、 設定/変更を行ってください。センサタイプはパソコン用ソフトウェア「TR7 for Windows」、モバ イルアプリ「T&D Thermo」、またはクラウドサービス「おんどとり Web Storage」で変更できます。 各設定方法の詳細は以下URLよりご確認ください。

TR7 シリーズマニュアルサイト https://manual.tandd.co.jp/tr7/index.html



電池残量がなくなった時に記録データを守る方法

TR7A2シリーズは電源を消失してもデータを保護しますが、電池残量警告マークが表示 されたら、なるべく早めに新しい電池に交換してください。

1 電池交換の時期になると、電池残量警告マークが表示されます。



点滅:電池残量が少なくなると表示 点灯:電池残量が更に少なくなると表示。自動送信動作を停止し、記録は継続。

【電池交換すると】

- ・電池交換前の記録をそのまま継続します。
- ・保持されている記録データを吸い上げることができます。

2 電池交換をせずに使用を続けると下図の表示になり、記録を停止します。



【電池交換すると】

- ・記録開始操作するまで記録停止のままです。ただし「おんどとり Web Storage」 と通信して記録データのアップロードが成功すれば記録を再開します。
- ・保持されている記録データを吸い上げることができます。記録データを吸い上げ またはサーバにアップロードする前に記録を開始すると、本体内の記録データは 全て消失するのでご注意ください。

3 さらに電池交換をせず放置すると、液晶表示が消え内蔵時計がリセットされます。



【電池交換すると】

- ・記録開始操作するまで記録停止のままです。ただし「おんどとり Web Storage」 と通信して記録データのアップロードが成功すれば、自動的にサーバと時刻合わ せをして記録を再開します。
- ・本体内部の時計がリセットされているので、自動送信をOFFにしている場合は、 改めて時刻設定が必要です。
- ・保持されている記録データを吸い上げることができます。記録データを吸い上げ またはサーバにアップロードする前に記録を開始すると、本体内の記録データは 全て消失するのでご注意ください。